

大阪府内のある町での話

「小学校で一緒にサッカーをしていたみんなが僕のまわりから突然いなくなった」。川の堤防で一人ボンヤリしていた中学1年生のA君が、声をかけた近所のおばさんに返した言葉である。

A君が通う中学校のサッカー部の先生がこの春転勤になり、サッカー部は突然廃部になったらしい。

この話を聞いたおばさんは、さっそく近所の体育指導委員、子ども会の役員さん、地域に住んでいる小・中学校の先生、町会長さんに相談しました。

最初は「どうしようもない」という雰囲気でしたが、このおばさんの熱意に動かされ、徐々に「できることから始めよう」という雰囲気になってきました。

そして、他府県の「地域の指導者を巻き込んで、総合型地域スポーツクラブを設立し、小・中9年間の一貫した指導や異年齢層の交流が可能になるシステムを作ろう」という取組にならない、上記の方々のほか、地元の小・中学校、PTA、自治会、ボランティア団体などがあつまって「みんなでの楽しいスポーツクラブ運営委員会」ができました。

運営委員会で話し合い、

小学校低学年～中学年には…

トータルスポーツ(リズム運動、ボール運動等)

小学校中学年～中学生・高校生・青少年世代には、
複合スポーツから専門スポーツ(ストレッチ体操やバレーボール、サッカーなどの競技スポーツ等)

PTAや高齢者には…

ニュースポーツ(インディアカ、グラウンド・ゴルフ等)

というように、各世代に応じた「したいプログラム」を準備することになりました。

「自分たちで設立したクラブ」だから、運営資金は参加者の会費制。平日は午後5時から、土・日・祝は午前・午後の部に分かれての活動です。運営委員会のメンバーが施設利用についてアプローチした結果、地域の小・中・高等学校の体育館・グラウンド・プール及び企業の体育館が使用できることになり、行政・公的機関から地域の人材バンクやスポーツボランティア団体を紹介してもらって、指導者も派遣されました。夏には水泳協会の指導者がアシスタントティーチャーとして水泳の授業に参加。暗かったA君の表情も徐々に明るくなってきました。



大阪府生活文化部スポーツ・青少年課 生涯スポーツ振興室・事業推進係
TEL 06(6941)1585 直通 FAX 06(6944)6649

地域生涯スポーツ 推進協議会

生涯スポーツ社会とは、誰もが、生涯を通じ、いつでもどこでも、気軽にスポーツに親しみ、楽しむことによって、健康で潤いを実感することができる社会です。このような生涯スポーツ社会づくり施策の大きな柱のひとつとして、三島・豊能・泉北・泉南・南河内・中河内・北河内の7地域に「地域生涯スポーツ推進協議会」(以下「協議会」)が設立されました。

協議会は、地域内の市町村やスポーツ関係団体等の代表者で構成されており、市町村の垣根を越えて府民が気軽にスポーツに参加できる機会を拡大することを目的として設置され、地域の特性を生かした生涯スポーツの振興を図るための企画研究、スポーツ大会、スポーツ教室等のイベントや講習会等を行っています。

生涯スポーツ社会を実現していくためには、少子・高齢社会における健康・生きがいづくり、青少年の健全育成、完全学校週5日制導入などにも対応できるよう地域に根ざした、総合的なスポーツクラブの設立など、環境整備をする必要があります。近年、スポーツに対する府民の関心は年々高くなってきており、豊かな地域コミュニティづくりを進める上でもスポーツは大切なものと認識されるようになってきております。

そこで、生涯スポーツ社会の実現を目指し、事業をどのように推進するか検討をはじめると、以下のように、数多くのアイデアが提出され、議論されるのではないかと考えられます。

A市で盛んな〇〇大会にB市の住民も参加できるようにしよう!

C市の商工会義所が中心となって開催している事業にD町の人やE町の人も参加できるようにしよう!

F市立中学校の体育施設開放を活用して指導者講習会を開催しよう!

誰もが、気軽に参加できる総合型のスポーツクラブを地域のみなでつくろう!

このような意見を、どのように選択し、まとめて、事業を準備・運営するかが、協議会における共通の課題です。今後とも協議会においては、地域における生涯スポーツ振興の核として地域住民のスポーツニーズを出来る限り反映し、お年寄りから子どもまでの地域の誰もが、スポーツに親しみ、楽しめる工夫を創出していくことが期待されます。

問い合わせ先

大阪府生活文化部スポーツ・青少年課

生涯スポーツ振興室事業推進係 TEL06(6941)1585 直通